慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫昭和四十九・五十年度彙報
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1976
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.13 (1976.) ,p.387- 390
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000013-0387

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学附属研究所

斯道文庫昭和四十九・五十年度彙報

尾崎康

人事

四十九年十月一日を以て、助教授松本隆信君は教授に昇格した。松本隆信君はかねて本塾大学院文学研究科に提出中の「中世における本地物の研究」の論文によって、五十年三月廿九日文学博士の学位を授与された。

文庫長森武之助君の任期が四十九年九月末日を以て満了したが、重任された。

韓国中央大学校文理科大学図書館学科副教授沈鳴俊氏は、日本学術振興会の昭和五十年度外国人招聘研究者として、八月一日来日、七ケ月間阿部隆一教授の下で、日本所在漢籍朝鮮版の研究調査に参加し、五十一年二月末帰国した。

文庫委員会

四十九年七月十日正午より、図書館記念室に於て開き、文庫長より文庫の近況研究実績及び計画等を報告し、文庫長の選任及び文庫運営の重要事項についての内規、文庫長以下の人事の件について審議決定した。

五十年五月十四日正午より、本文庫長室に於て開き、文庫長より文庫運営事業の諸般について報告し、人事その他の件を審議決定した。

研究調査

この両年度は前年度に続き左の研究題目を中心として、調査研究と副本作製を進めた。

一、国書の部

(1)平安時代和歌物語の研究

(2)中世物語の研究

（担当者　松本隆信・平沢五郎）

二、漢籍の部

(1)旧鈔本・宋元版の研究

(2)日本漢学の研究

（担当者　阿部隆一・太田次男・尾崎康）

特に本年度に於ける各文庫員の研究調査題目は左の如し。

一、宋金元版の研究　阿部隆一

一、日本漢学資料類の調査

一、室町以前に於ける白氏文集受容についての研究（金沢文庫本を通じて）　太田次男

一、和漢朗詠集鈔本の調査

一、室町物語の研究（本地物の研究）　松本隆信

一、平安朝和歌物語の研究（金葉和歌集諸本の研究）　平沢五郎

一、宋元版正史の研究　尾崎康

一、通典選挙典の校注

大沼晴暉

一、江戸時代学術文芸（土佐南学谷秦山門流）の書誌調査　白石　克

一、日本古刊経の研究

五十年度より次の研究計画を追加した。

一、亀井南冥・昭陽全集編纂（担当者阿部隆一・大沼晴暉・川口国昭）

本文庫の所蔵する南冥・昭陽父子一門の自筆稿本精写本手沢本類を中心として、関係文献を博捜し、その解題目録を撰し、全集編纂の基礎作業をなす。本調査については、福岡市の庄野寿人氏より研究資金の寄贈を受けた。

一、江戸時代に於ける孝経関係書の調査研究（担当者　阿部隆一・大沼晴暉・川口国昭）

本研究については昭和五十年度本塾学事振興資金による研究補助廿五万円を受けた。

助教授尾崎康君は「宋元版正史の研究」について、ハーヴァード大学エンチン研究所の一九七四―七五年度の研究補助金二一四三ドルを受けた。

文庫員が、この両年度に於て公表せる主要な研究成果は左の通りである。

阿部隆一　我が国の漢籍文化財の特色と価値（毎日新聞社刊「重要文化財」二〇附録）

中華民国国立中央図書館等蔵宋金元版解題―中国訪書志三―（「斯道文庫論集」第十三輯）

太田次男　白氏文集新見正路校本について―金沢文庫本巻三の存否を繞って―（「金沢文庫研究」二一八・二一九号）

金沢文庫保管古鈔本所引の白氏詩文について―「畫西方浄土記」を中心にして―（「金沢文庫研究」二一三〇・二一三三・二三六号）

松本隆信　室町時代物語大成第三・四二冊（横山重共編　東京・角川書店刊）

中世における本地物の研究㈢（「斯道文庫論集」第十三輯）

平沢五郎　金葉和歌集二度本攷㈢―所謂二度本系諸本に就いて―（「斯道文庫論集」第十二輯）

尾崎康　南宋両淮江東転運司刊三史について（「史学」四六巻三号）

大沼晴暉　大かうさまくんきのうち（大沼晴暉翻字・解題　東京・汲古書院刊　斯道文庫古典叢刊之三）

白石克　平安鎌倉期出版関係者一覧（「金沢文庫研究」二一〇・二一三―二一六号）

覆宋版「五部大乗経」類と宋版との関係について㈠大般涅槃経四十巻（「書誌学」新二四・五合併号）

真言宗系譜に見られる鎌倉期古刊経出版関係者について―憲静・能海・性海―(附)相州霊山寺版刊行地考（「金沢文庫研究」二二九号）

慶応義塾図書館所蔵英語辞書解題―江戸末～明治十年（"Library Information Science" 一三号）

調査出張

上記の研究題目に関する諸本の調査及び複写撮影のため、都内及び近傍の諸所に出張したが、主な地方出張をあげれ

ば、

四十九年六月十六―十八日　大阪市・天満宮、池田市・逸翁美術館、京都大学人文科学研究所　出張者　太田次男

六月十九―廿九日　高知県立図書館、香川県山本町大喜多家、今治市・河野信一記念文化館、坂出市・鎌田共済会郷土博物館、丸亀市立図書館、平賀源内顕彰会、香川大学図書館　出張者　阿部隆一・大沼晴暉

十一月十八―廿二日　天理図書館・京都大学人文科学研究所　出張者　太田次男

五十年二月一―七日　福岡市・九州大学、亀陽文庫　出張者　阿部隆一

二月廿三―廿五日　東北大学図書館　出張者　大沼晴暉

二月廿三―廿五日　名古屋市蓬左文庫　出張者　太田次男

三月廿六―四月四日　三原市立図書館、広島大学、広島市立中央図書館、天理図書館　出張者　阿部隆一

四月九・十日　長野県上田市立図書館　出張者　太田次男

四月十五―廿六日　長崎県島原市公民館（松平文庫）、九州大学図書館　出張者　平沢五郎・井上善一

四月十七―廿六日　京都大学図書館、九州大学、福岡県立文化会館、大分県日田市・広瀬家咸宜園　出張者　阿部隆一

八月廿七―九月一日　青森県岩木町高照神社、弘前市・東奥義塾、弘前市立図書館、弘前市竹内家・藤田家、黒石市黒石神社　出張者　阿部隆一・川口国昭

十月十七―十九日　身延山久遠寺　出張者　森武之助・阿部隆一・白石克

十月卅一―十一月八日　岡山大学、岡山市・林家　出張者　阿部隆一・大沼晴暉・川口国昭

十一月十八・十九日　名古屋市蓬左文庫　出張者　阿部隆一・尾崎康

十二月十一―十三日　身延山久遠寺　出張者　阿部隆一・井上善一

二月一―四日　名古屋市蓬左文庫、天理図書館、京都国立博物館　出張者　阿部隆一

二月廿六―三月十一日　福岡県立文化会館、九州大学、大分県立図書館、臼杵市立図書館、佐伯文化会館（佐伯文庫）、山口市・洞春寺、山口県立図書館　出張者　阿部隆一

三月八―十五日　長崎県島原市公民館（松平文庫）　出張者　平沢五郎・井上善一

斯道文庫講座

本両年度の講座題目は、

我が国に於ける漢籍の伝流について　阿部隆一

白氏文集の校合　太田次男

中世における本地物の研究　松本隆信

平安朝後期和歌の研究　平沢五郎

図　書

五十年三月末現在、その整理を完了し、登録せる同年度の図書増加数は、四九一冊、うち寄贈書は八十一冊、斯道文庫賛助員会寄附金による購入本は三部三冊、五十一年三月末現在、その整理を完了し、登録せる同年度の図書増加数は五四九冊、うち寄贈書は一五七冊、累計九

万一千五百九十二冊、他に寄託図書は三万三千冊、計十二万四千五百九十二冊、外にこの両年度の逐次刊行物の増加は三十二種である。

この両年度の主な寄贈者（定期刊行物を除く）の芳名を左に録して、感謝の意を表する。

大阪府立図書館殿　金沢文庫殿　神宮文庫殿　大東急記念文庫殿　天理図書館殿　内閣文庫殿　蓬左文庫殿　京都大学人文科学研究所殿　古典研究会殿　汲古書院殿　中華民国国立中央図書館殿　大韓民国議会図書館殿　延世大学校図書館殿　東国大学校図書館殿　淑明女子大学校図書館殿　梨花女子大学校図書館殿　太田武夫殿　亀山圭三殿　神田喜一郎殿　近藤啓吾殿　長沢規矩也殿　沈鳴俊殿　林宗毅殿

文献複写

マイクロ・フィルムによる副本作製は、公私の文庫所蔵本について行い、その全巻を撮影せる現蔵量は五十年三月末ネガフィルム五六一リール、ポジフィルム五九六リール、五十一年三月末現在整理登録を完了せるもの、累計百呎ネガフィルム五七八リール、ポジフィルム六二九リールに達した。

この撮影は本文庫の研究事業計画に賛意を表され、貴重なる所蔵本の複写を許可された所蔵者各位の厚意によるもので、その主な芳名を録して、感謝の意を表する。

高知県立図書館殿　大喜多勘学殿　河野信一記念文化館殿　天理図書館殿　九州大学図書館殿　蓬左文庫殿　三原市立図書館殿　広島大学殿　島原市公民館殿　京都大学図書館殿　福岡県立文化会館殿　高照神社殿　弘前市立図書館殿　身延山久遠寺殿　林秀一殿　大分県立図書館殿　臼杵市立図書館殿　佐伯文庫殿　洞春寺殿　東京大学東洋文化研究所殿

刊行事業

一、斯道文庫論集　第十二輯　A5判　四二六頁　五十年三月一日発行

本輯は平沢五郎君の「金葉和歌集二度本攷(三)」の専刊特輯とした。

一、斯道文庫論集第十三輯　A5判　四〇〇頁　五十一年七月一日発行

大かうさまくんきのうち　別冊共二冊（A5判　三一〇頁　別冊　九一頁　五十年二月　東京・汲古書院刊　定価四千円）—斯道文庫古典叢刊之三

本塾図書館所蔵太田和泉守牛一の自筆稿本たる豊太閤の伝記が、今回国の重要文化財に指定されたのを記念に、全巻を影印に附し、文庫助手大沼晴暉君が翻字し、解説を加え、共に別冊とした。

一、諸本対照　十七条憲法訓読並校異　一冊（A5判　三一一頁　五十年四月東京・汲古書院刊　定価二千五百円）—斯道文庫古典叢刊之四

文庫全員の共同調査研究になる本書はさきに斯道文庫論集第十輯の特輯専刊として公刊されたが、学界の要望に応じて、単行発売することにした。